

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	16-040	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Alcohol Intake and Serum Glucose Levels from the Perspective of a Mendelian Randomization Design: The KCPS-II Biobank. メンデル無作為化デザインの見地によるアルコール摂取と血糖値 : KCPS-II バイオバンクより		
<b>執筆者</b>		
Jee YH, Lee SJ, Jung KJ, Jee SH.		
<b>掲載誌</b>		
PLoS One. 2016 Sep 15;11(9):e0162930. doi: 10.1371/journal.pone.0162930.		
<b>キーワード</b>		PMID
メンデル無作為化、ALDH、rs671、血糖、アルコール		27632197
<b>要 旨</b>		
<b>目的 :</b>		
以前の研究において、アルコール摂取は空腹時血糖(血清による。FSG)の上昇に関与すると示唆されたが、何に起因するのかは未だ不明である。筆者らはメンデル無作為化分析を用い、中年期の韓国人においてアルコール摂取が FSG に及ぼす影響を評価した。		
<b>方法 :</b>		
Korean Cancer Prevention Study-II(KCPS-II) バイオバンクコホートに参加した 20 歳以上 156,386 人の韓国人から FSG と飲酒量を含む臨床データを収集した。2016 年、2,993 人の男性と 1,374 人の女性を ALDH2 の rs671 単塩基多型で識別した。この KCPS-II バイオバンクコホートから無作為に選出した下位集団において、rs671 多型とアルコール摂取、FSG の関連を調べた。		
<b>結果 :</b>		
アルコール摂取量は男性において FSG と正に関連していたが、女性では関連がなかった。rs671 優性対立遺伝子 G は男性においてアルコール摂取量(F 統計量=302.62)、FSG 上昇と関連していた。メンデル無作為化分析を用いると、1 日あたり 1 単位(エタノール 10g)の飲酒は FSG1.78mg/dL(95%CI:0.97~2.59)の上昇をもたらし、多量飲酒者と高齢者を除くところの関連は強くなる。しかし、女性では rs671 とアルコール、FSG の関連はなかった。		
<b>結論 :</b>		
メンデル無作為化分析を用いて、著者らは韓国人男性におけるアルコール摂取と FSG の因果関連を示した。また、ALDH2 の rs671 多型は韓国人女性において FSG と関連を認めなかった。		